

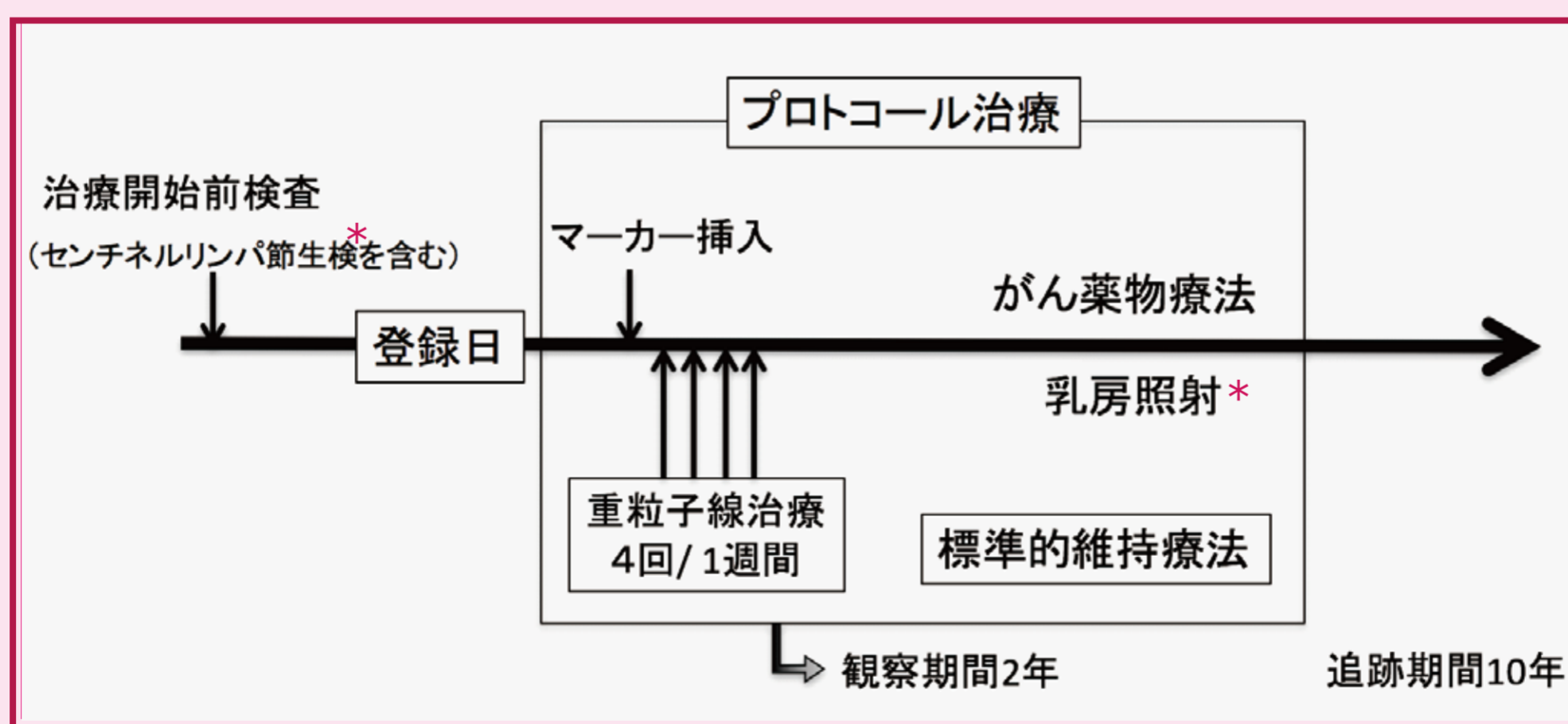
# 早期乳がんに対する重粒子線治療 臨床試験のご案内

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所では、**早期乳がんに対する臨床試験**を行っています。

この試験では、**乳房部分切除のかわりに重粒子線治療**を行い、腫瘍を切除しません。重粒子線治療は放射線医学総合研究所（千葉市稲毛区）で行い、それ以外の治療は原則的に当院で行います。乳房部分切除が重粒子線治療にかわるだけで、それ以外の治療は標準治療に則って行います。**重粒子線治療の費用は研究所が負担しますので、患者さんのご負担はありません。**それ以外の検査や治療は、通常の保険診療で行います。

対象となる患者さんの条件は、

1. 浸潤性乳管癌あるいは非浸潤性乳管癌であることが確認されている。
  2. 腫瘍が 20mm 以内の単発である。
  3. 治療前検査のセンチネルリンパ節生検にて 2 mm を超えるリンパ節転移がないことが確認されている。
  4. 20 歳以上の女性である。
- などです。



60 歳以上の低リスクの方には\*を行わない別の臨床試験があります。

共同研究機関：東京女子医科大学病院、東京医科大学病院、杏林大学医学部付属病院、聖路加国際病院、東京女子医科大学東医療センター、千葉県がんセンター、千葉医療センター、亀田総合病院

重粒子線治療の臨床試験に関心がある方は、担当医までお問い合わせください。